

(修正前) 委員会時資料

委員会時の意見を踏まえ、修正した箇所

2.第2回意見聴取の結果 2-8意見聴取結果のまとめ

- アンケート結果から、ルート帯案を検討する際に、すべての質問事項で肯定的な意見が過半数となり、重視・配慮すべきであることが確認できた。
- その中でも(1)～(7)については肯定的な意見が特に多く、重視すべき項目である。

質問事項	一般道路利用者				事業者 N=1,927	全回答 N=22,640	重視すべき事項											
	地域内 N=19,652		地域外 N=1,061															
政策目標	(1)名古屋港や中部国際空港と西三河地域間が速く確実に移動できること	42%	82%	40%	11%	52%	81%	29%	11%	48%	88%	35%	9%	43%	82%	39%	11%	○
	(2)物流の効率化によりモノづくりなどの地域の産業が良くなること	40%	84%	44%	11%	55%	86%	31%	9%	46%	81%	37%	10%	41%	84%	43%	11%	○
	(3)周辺道路の渋滞が緩和されること	59%	85%	26%	8%	69%	87%	20%	5%	62%	85%	23%	6%	60%	88%	26%	7%	○
	(4)交通事故の危険性を減らせること	49%	78%	30%	14%	58%	84%	26%	11%	48%	78%	31%	13%	49%	78%	30%	13%	○
	(5)緊急輸送道路の機能が一層高まること	48%	84%	36%	10%	62%	80%	28%	6%	49%	82%	33%	11%	49%	84%	35%	10%	○
	(6)地域の防災性が向上すること	42%	80%	38%	14%	54%	87%	33%	9%	42%	77%	35%	15%	43%	80%	37%	14%	○
配慮すべき事項	(7)生活環境(大気・騒音等)に配慮し、影響が少ないこと	35%	74%	39%	19%	45%	81%	36%	15%	33%	73%	40%	20%	36%	75%	39%	19%	○
	(8)自然環境(動物・植物・生態系等)に配慮し、影響が少ないこと	33%	71%	38%	21%	40%	78%	39%	15%	30%	80%	39%	22%	33%	71%	38%	21%	○
	(9)地域の景観(環境資産)に配慮し、影響が少ないこと	26%	67%	41%	24%	36%	77%	41%	18%	24%	67%	43%	24%	26%	68%	42%	24%	○
	(10)コストに配慮した道路であること	32%	82%	40%	19%	42%	78%	34%	16%	32%	72%	40%	19%	33%	73%	40%	19%	○
ICの配置に関して重要だと思うこと	主要な幹線道路と直接つながっていること ・災害時に、緊急車両が防災拠点や病院へ速く行き来できること																	

8割以上が重視すべきと回答があった項目 強く思う どちらかというと思う どちらかというと思わない 全くそう思わない 未回答

(修正後) 朱書き箇所が意見を踏まえた修正箇所(案)

2.第2回意見聴取の結果 2-8意見聴取結果のまとめ

- アンケート結果から、ルート帯案を検討する際に、すべての質問事項で肯定的な意見が過半数となり、重視・配慮すべきであることが確認できた。
- その中でも(1)～(7)については、全回答もしくは分類別回答のいずれかで肯定的な意見が80%を超えている。

質問事項	一般道路利用者				事業者 N=1,927	全回答 N=22,640	重視すべき事項											
	地域内 N=19,652		地域外 N=1,061															
政策目標	(1)名古屋港や中部国際空港と西三河地域間が速く確実に移動できること	42%	82%	40%	11%	52%	81%	29%	11%	48%	88%	35%	9%	43%	82%	39%	11%	○
	(2)物流の効率化によりモノづくりなどの地域の産業が良くなること	40%	84%	44%	11%	55%	86%	31%	9%	46%	81%	37%	10%	41%	84%	43%	11%	○
	(3)周辺道路の渋滞が緩和されること	59%	85%	26%	8%	69%	87%	20%	5%	62%	85%	23%	6%	60%	88%	26%	7%	○
	(4)交通事故の危険性を減らせること	49%	78%	30%	14%	58%	84%	26%	11%	48%	78%	31%	13%	49%	78%	30%	13%	○
	(5)緊急輸送道路の機能が一層高まること	48%	84%	36%	10%	62%	80%	28%	6%	49%	82%	33%	11%	49%	84%	35%	10%	○
	(6)地域の防災性が向上すること	42%	80%	38%	14%	54%	87%	33%	9%	42%	77%	35%	15%	43%	80%	37%	14%	○
配慮すべき事項	(7)生活環境(大気・騒音等)に配慮し、影響が少ないこと	35%	74%	39%	19%	45%	81%	36%	15%	33%	73%	40%	20%	36%	75%	39%	19%	○
	(8)自然環境(動物・植物・生態系等)に配慮し、影響が少ないこと	33%	71%	38%	21%	40%	78%	39%	15%	30%	80%	39%	22%	33%	71%	38%	21%	○
	(9)地域の景観(環境資産)に配慮し、影響が少ないこと	26%	67%	41%	24%	36%	77%	41%	18%	24%	67%	43%	24%	26%	68%	42%	24%	○
	(10)コストに配慮した道路であること	32%	82%	40%	19%	42%	78%	34%	16%	32%	72%	40%	19%	33%	73%	40%	19%	○
ICの配置に関して重要だと思うこと	名古屋港、中部国際空港、主要集積地へ速く行き来できること ・主要な幹線道路と直接つながっていること ・災害時に、緊急車両が防災拠点や病院へ速く行き来できること ・市街地へ速く行き来できること																	

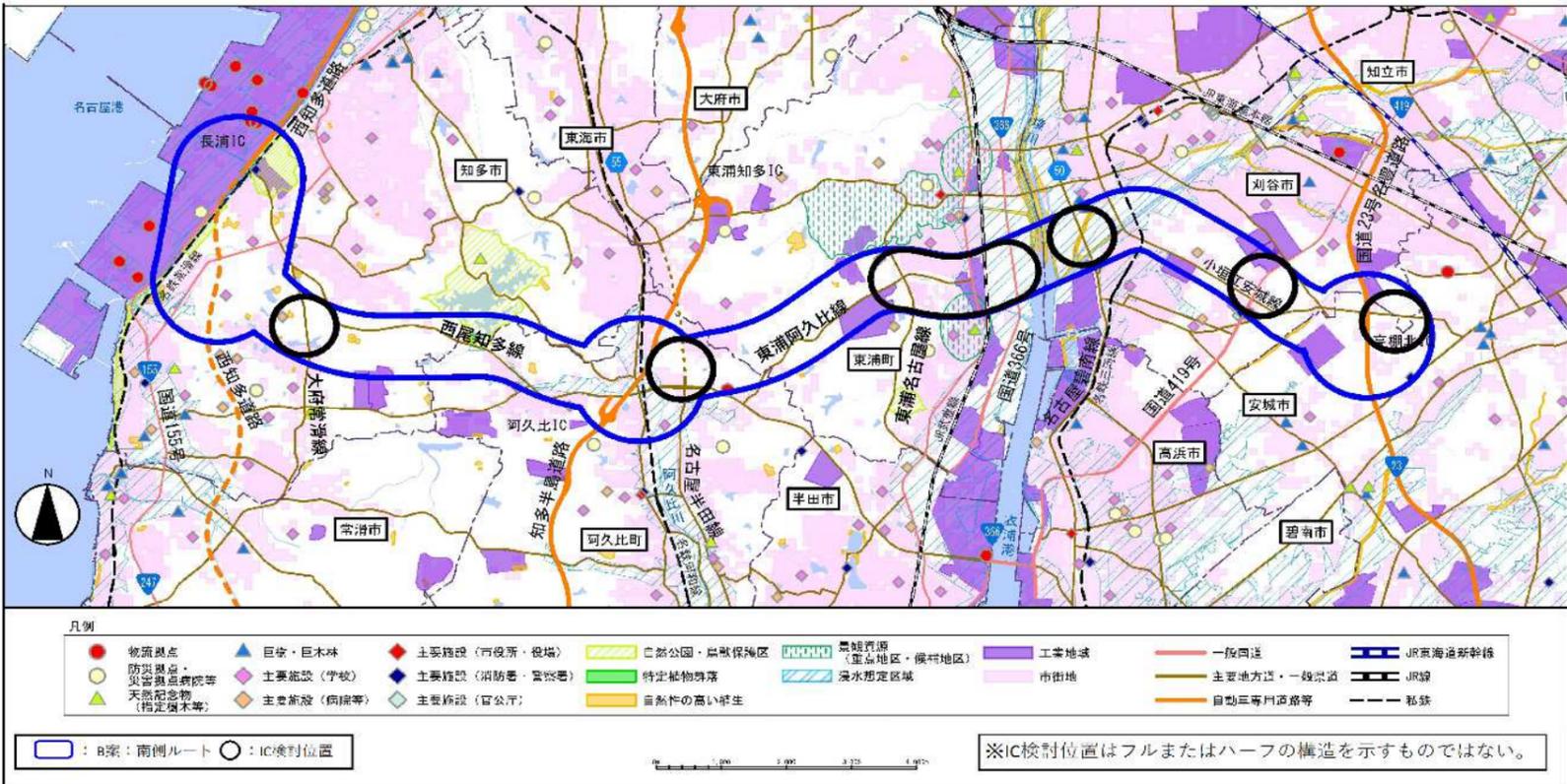
8割以上が重視すべきと回答があった項目 強く思う どちらかというと思う どちらかというと思わない 全くそう思わない 未回答

(修正前) 委員会時資料

 委員会時の意見を踏まえ、修正した箇所

5.対応方針(案)まとめ

- 名古屋港や中部国際空港への速達性や定時性が向上し、生産拠点や防災拠点等へのアクセス性に最も優れる【B案：南側ルート】とする。
- インターチェンジについては、主要な幹線道路と接続するとともに、名古屋港、中部国際空港、産業集積地へのアクセス性の向上や、市街地や防災拠点へのアクセス性にも考慮した検討位置とする。



(修正後) 朱書き箇所が意見を踏まえた修正箇所(案)

5.対応方針(案)まとめ

- モノづくり産業が発達している本地域において、国際拠点港湾である名古屋港や中部国際空港への速達性や定時性が向上し、生産拠点や防災拠点等へのアクセス性に最も優れるとともに、**周辺道路の渋滞緩和や交通事故発生リスクの低減も期待できる【B案：南側ルート】とする。**
- インターチェンジについては、主要な幹線道路と接続するとともに、名古屋港、中部国際空港、産業集積地へのアクセス性の向上や、市街地や防災拠点へのアクセス性にも考慮した検討位置とし、**浸水等の災害時における機能確保に配慮する。**
- **具体的な道路構造の検討に際しては、自然環境等への影響をできるだけ少なくするよう配慮する。**

